

ド・リ・スター学級 【中学年4 - (4)】

- 学級活動との関連を図った取組み -

(1) 主題名 よりよい学級に [4 - (4)] 関連項目 [2 - (3)]

(2) ねらい みんなで、協力し合って、明るく楽しい学級を作ろうとする心情を育てる。

(3) 資料名 「ド・リ・スター学級」

(4) 授業の展開例

	学習活動	主な発問と児童の心の動き	留意点
導入	1 学級の自慢について考える。	自分たちの学級のどんなところが自慢ですか。 ・みんなが仲がいいところ ・楽しい学級	自分たちの学級のことについて考えることで、価値への方向付けをする。
展開	2 資料を読み、話し合う。	学級の名前を考えているとき、ふみかは、どんなことを考えていたでしょうか。 ・みんながやる気になるのはどんな名前かな。 ・いい名前を考えたいな。 学級の名前が決まったとき、ふみかはどんな気持ちだったでしょうか。 ・学級の名前が決まって良かった。 ・いい学級になるようにみんなでがんばろう。 ・いい1年になりそうだな。	状況をしっかりおさえながら主人公の心情に共感させる。 これまでの生活経験等を思い起こしながら考えさせる。
	3 演技を終えた後の主人公の心情について考える。	みんなの顔を見ながら、ふみかはどんなことを考えていたでしょうか。 ・学級の名前のようにみんなでがんばれて良かった。 ・これからも、いい学級になるようにがんばろう。 ・	書く活動を取り入れ、主人公の気持ちをじっくりと考えられるようにする。
	4 今までの自分の生活を振り返る。	学級をよくしようと思っていることにどんなことがありますか。	児童の日記や作文も活用し、一人一人が自分の生活を振り返られるようにする。 「心のノート」P 81も活用する。
終末	5 教師の説話を聞く。	・もっともっと、いい学級にしていきたいね。	今後への意欲を高めることのできる話をする。

ド・リ・スター学級

四年になつて、ふみかたちの学級では、みんなで学級の名前を決めるのになつきました。

「どんな学級がいいかな・・・。みんながなかよしくして一年をおくれたらいいな・・・。」

ふみかはこうした学級の名前を考えてみました。

「そうだ、リボン学級にしよう。リボンでつなごだよ！」みんなの心がひとつになつたよ！」

次の日の学級会で、ふみかの意見と同じくみんなが気に入つたのが、ゆりたんの意見でした。

「ほくは、スター学級がいいと思います。一人一人が星のようにかがやけるよ！」がんばると、とてもいい学級になると思います。」

リボン学級とスター学級にわかれ、意見がまとまりません。話題をやめて、次の日に続きを考へることになりました。次の日の話合いで、やつぱり、意見が一つに分かれたままです。そのとき、ゆりが手をあげて言いました。

「わたしはどうやらむごと感じます。この一年、みんなでなかよく、一人一人スターのようにならなければなりません。それで、一つをへつけて、みんなで、ゆめにむかってがんばる気持ちのドームを付け加えて、『ド・リ・スター』にしたらいいこと感ります。ドームのドとリボンのこ、それにスターで『ド・リ・スター』です。」

みんなが拍手して、ふみかたちの学級の名前は「ド・リ・スター」になりました。
(いい名前ができたな。みんなが一生けん命考えてつくった『ド・リ・スター学級』、本当にいい学級になつそうだな。)

そう考えると、ふみかはなんだか、うれしくなつてきました。

「ド・リ・スター学級が最初にがんばるのは一輪車だね。」

ゆりがいました。

ふみかたちの学校では、六月の初めに運動会があります。運動会ドリ・四年生(一輪車のえんぎ)をします。

「去年は、四年生の人に助けてもらつたから、今年はわたしたちで三年生を助けてあげま

「しゃべ。」

「去年できなかつた技ができるよつてしよう。」

「運動会の一輪車は四年生で最後だから、みんなで一つの技をしよう。」

運動会までの一ヶ月半、みんなで目標を決めて練習をがんばりました。朝や休けい時間一二年生をひらく練習しました。

運動会当日、一輪車の演技が始まりました。三年生の手助けもつまくできました。去年できなかつた技もできました。こよによ最後の技「風車」です。この技は、四年生全員が一輪車に乗つて手をつないで大きくなまる技です。外側の人は、一生けん命こがないといけません。内側の人は、バランスをとつて支えないといけません。みんな自分の役割をがんばっています。ふみかも歯をくいしばり、となりの人の手をはなさないよつて一輪車をこじました。一輪車の演技が無事成功しました。

(この一ヶ月半、みんなで、がんばったからだ。これで一つ「ド・リ・スター学級」に近づけたかな。)

みんなのうれしそうな顔を見ながら、ふみかはうつ思つてこました。



活用に生かすための実践報告

「ド・リ・スター学級」

1 主題の設定

「愛校心」を育てていくにあたり、中学年段階では「我が学級意識」を育てるここと、即ち明るく楽しい学級をみんなで協力し合って築き上げるように指導することが求められている。そこで、よりよい学級を育てていこうとする心情を育てていくためにこの資料を作成した。

2 指導過程の工夫

終末について、指導案では教師の説話しているが、実際の授業では、運動会の一輪車の演技のVTRを視聴した。これまで学級で協力して取り組んだ活動についての記録（VTRや写真、児童の作文等）が活用できれば、より効果的であると考える。

年度初めに実施する際は、前半部分を中心扱うと効果的だと考える。

「心のノート」p81を展開後段で使用したが、導入での使用も効果があると考える。

3 発問の工夫

主人公の心情にそって、発問を構成した。中心発問では、演技を終えた後の主人公の心情について、しっかりと共感させて考えることができるように話し合いのし方を工夫してほしい。

また、展開後段での一般化については、学級の児童の実態をよく把握し、これまでの体験が引き出せるよう発問を工夫してほしい。

4 児童の反応（授業後の感想）

- ・ 運動会では、本当にみんながかがやいていた。2学期もみんなで協力してもっとかがやきたい。
- ・ やっぱりいい名前だと思った。これからも、もっといい学級になるようにみんなで力を合わせていきたい。
- ・ 一生懸命名前を考えたときのことを思い出した。これからもいい学級にしていきたい。

5 実践者からの一言

本資料を扱う時期として、年度当初の学級開きの諸活動と併せて本資料を扱った授業を実施する場合と、学年の途中で、児童が協力して活動できたという充実感を味わった後や、学級全体でがんばる大きな目標となる活動の前に、本資料を扱った授業を実施する場合とが考えられる。

2学期初めにこれからへの意欲を高めるために、この授業を実施した。年度当初の張り切っていた自分の気持ち、運動会での充実感を思い出すことで、2学期も、仲間と協力し、よりよい学級にしていこうとする意欲を高めることができた。

本学級では、教室の側面にこれまでの学級における活動の記録を月ごとにまとめて掲示している。それが、それぞれの場面や、一般化の段階で児童が自分の生活を振り返るための手助けとなっていた。

（警固屋小学校 胡 敏和）